

第1回 一橋大学本番レベル模試（地理） 採点基準

共通採点基準

〔記述・論述問題共通〕

- 誤字や脱字, 「てにをは」の誤り, 主語述語関係などの日本語の乱れは1か所につき, **1点減点**
 - *同一の小問内で, 同じ誤りを繰り返している場合は, 個々ではなく, まとめて減点を行う
- 指定行数・字数を超えて記述した解答は, **1点減点**
 - *最後のマスに文字と句点を両方記入したのも含む
 - *字数制限のある問題の解答欄に問題番号を自分で記入する場合, 問題番号も字数に含む
- 国名を一意性のない略称で記述した解答は, **1点減点**
 - *同一の小問内で, 複数の略称を用いた場合も, まとめて一度のみ減点を行う
 - *重複のない政体抜きで国名や「中国」「韓国」「イギリス」などの通称は, 減点しない
 - *「米国」「英国」「ソ連」「UAE」「露国」「独国」「仏国」「豪州」などは, 一意性があるため, 減点しない
 - *「アメリカ」は地域・大陸名と重複, 「コンゴ」「ドミニカ」は国名が重複するため, 減点する
 - *ただし, 「アメリカ」は, 国名として記述されていることが明確に読み取れる場合に限り, 減点しない
 - *「日」「中」「韓」「米」「露」「英」「独」「仏」「豪」などは, 一意性がないため, 減点する
 - *ただし, 「日中関係」「日米間」などの熟語的使用は, 一意性があるため, 減点しない
 - *上記にかかわらず, 問題用紙に記載されている表記については, 減点しない

*以上の減点は, 他の加点・減点・得点の上限の適用などを全て施した最終的な得点に対して行う

*各小問の得点が0点になった場合, それ以上の減点を行わない

採点基準の見方

〔加点項目（算用数字：1, 2, 3…）について〕

- 「X, という内容 (a 点)」の項目は、解答全体がどのような文章構成であるかに関わらず、解答に要素 X が含まれているかどうかを判断し、含まれていれば加点する

〔採点基準の見方：注記（アスタリスク：*）について〕

- 注記は主に青字で示した解答以外で解答として認められる地理的類義語や国語的類義表現を示している
- 各注記「*」は、他の「*」を除く直上の記述に係っている
- 例のように、2つの加点項目が列挙される場合において、「*1」は1つ目（1行目）の加点内容に対する注記、「*2」は2つ目（2行目）の加点内容に対する注記、「*12」は両方に共通する注記であることを示している。同様に、加点項目が3つ以上列挙される場合は、「*1」は1つ目、「*3」は3つ目、「*23」は2つ目と3つ目に共通する項目、などを示している。

〔論理関係・問題条件による減点項目（ローマ数字 I, II, III…）について〕

- 「X1 が X2 の Y である、という関係でなければ、a 点減点」の項目は、要素 X1 と要素 X2 の両方で加点されている解答だけを判断の対象とする。つまり、要素 X1 または 要素 X2 が欠けている場合は、項目 Y についての減点は行わない（X1 や X2 が欠けていることによって失点しているため、さらに減点する必要はない）

I (50点)

採点基準

問1 12点

1. 米国とカナダとの貿易の特徴
(カナダとの貿易が) 双方向である, という内容 (2点)
* 「輸入も輸出も行っている」「輸入量・輸出量ともに多い」などの表現でも可
 2. 米国とメキシコとの貿易の特徴
(メキシコとの貿易が) 輸出がほとんどである, という内容 (2点)
* 「一方通行である」「片方向である」でも可
* 「輸出が圧倒的である」「輸出のみが多い」などの表現でも可
 3. 米国とカナダとの貿易の特徴の理由 i (米国の生産地)
(米国の生産地は) 東側に集中している, という内容 (2点)
* 「東部である」「中西部である」でも可
 4. 米国とカナダとの貿易の特徴の理由 ii (米国の消費地)
(米国の消費地は) 全土で多い, という内容 (2点)
* 「(東部だけでなく) 西部にも存在する」でも可
* 「西部に集中している」など, 東部の消費地の存在が示されていないものは不可
 5. 米国とカナダとの貿易の特徴の理由 iii (カナダの生産地)
(カナダの生産地は) 西側に集中している, という内容 (2点)
* 「アルバータ州である」でも可
 6. 米国とカナダとの貿易の特徴の理由 iv (カナダの消費地)
(カナダの消費地は) 東側に多い, という内容 (2点)
* 「トロントなどの地域である」「モントリオールなどの地域である」でも可
* 「オンタリオ州などの地域である」「ケベック州などの地域である」でも可
* 「東側でもみられる」など, 東側に消費地が存在することが示されていれば可
- I. 3が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点
II. 4が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点
III. 5が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点
IV. 6が1の理由である, という関係でなければ, 2点減点

問2 19点

1. 天然ガス輸出量の変化の特徴 i (全体的な特徴)
(天然ガス輸出量は) パイプラインも LNG 船も増加を続けている, という内容 (2点)
* 「パイプラインも LNG 船も」は「両項目とも」などの表現でも可
* 「増加を続けている」は「増加傾向である」などの表現でも可
2. 天然ガス輸出量の変化の特徴 ii (指標の比較)
(天然ガス輸出量は) LNG 船の方が増加が著しい, という内容 (2点)
* 「増加が著しい」は「伸び幅が大きい」などの表現も可

3. 天然ガス輸出量の変化の特徴の理由 i (米国の供給増)
(米国で) 生産量が拡大した, という内容 (2点)
* 「生産量」は「輸出余力」でも可
4. 米国の供給増の理由 i (シェール革命)
(米国で) シェール革命が起きた, という内容 (3点)
* 「(米国で) シェールガスの生産が本格化した」でも可
5. 米国の供給増の理由 ii (シェール革命の背景)
シェールガス採掘の技術革新が起きた, または
石油価格が高騰して採算性が向上した, という内容 (3点)
*1 「シェールガス採掘の技術」は「頁岩層の採掘技術」でも可
*この小要素〔シェールガス〕がないものは, 2点とする
*2 「石油価格が高騰して」は「石油の需要が拡大して」でも可
*この小要素〔石油価格の高騰〕がないものは, 2点とする
6. 天然ガス輸出量の変化の特徴の理由 ii (世界の輸入増)
世界的に米国からの輸入が増加した, という内容 (2点)
* 「世界的に」は「メキシコ・カナダ以外で」「ヨーロッパで」でも可
* 「米国から輸入する国が増えた」でも可
* 「メキシコ・カナダ以外の国が輸入を始めた」など具体的に述べても可
7. 世界的な輸入増の理由 i (需要の拡大)
世界的に (資源) 需要が拡大した, という内容 (2点)
* 「世界的に」は「中国で」「東南アジアで」でも可
8. 世界的な輸入増の理由 ii (ヨーロッパ諸国の思惑)
(ヨーロッパ諸国が) ロシアの政情が不安定であるため, 輸入先の分散を図った, または
(ヨーロッパ諸国が) 米国との経済関係の強化を図った, または
(ヨーロッパ諸国が) 環境負荷の小さいエネルギーへの転換を図った, という内容 (3点)
*1 「ロシアの政情が不安定である」は「クリミア危機が起きた」でも可
*この小要素〔ロシアの政情〕がないものは, 2点とする
*2 「経済関係の強化を図った」は「良好な外交関係の継続を図った」でも可
* 「経済」「外交」など, 小要素〔関係強化の具体的内容〕がないものは, 2点とする
*3 「環境負荷の小さい」など, 小要素〔環境への配慮の内容〕がないものは, 2点とする
- I. 3が1の理由である, または
3が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- II. 4が1の理由である, または
4が2の理由である, または
4が3の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- III. 5が3の理由である, または
5が4の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- IV. 6が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- V. 7が6の理由である, という関係でなければ, 2点減点
- VI. 8が6の理由である, という関係でなければ, 2点減点

問3 13点

1. 出来事の内容

パナマ運河の拡張工事が完了した, という内容 (3点)

* 「パナマ運河が拡張された」でも可

2. パナマ運河拡張が天然ガス貿易にもたらした影響 i (大型船の通行)

(パナマ運河を) 大型船が通行可能になった, という内容 (2点)

* 「大型船」は「LNG船」「LNGタンカー」でも可

3. パナマ運河拡張が天然ガス貿易にもたらした影響 ii (貿易量の増加)

(米国の) 天然ガス輸出量が増加した, という内容 (2点)

* 「(日本への) 天然ガス輸入量が増加した」「(日米の) 天然ガス貿易量が増加した」でも可

4. パナマ運河拡張が天然ガス貿易にもたらした影響 iii (輸送航路の短縮)

メキシコ湾からの輸送航路が短縮された, という内容 (3点)

* 「メキシコ湾からの」は「東海岸産天然ガスの」「東海岸産 LNG の」でも可

* 「メキシコ湾」は「カリブ海」「東海岸」でも可

* この小要素〔輸出元〕がないものは, 2点とする

* 「輸送航路が短縮された」は「輸出の輸送コストが削減された」でも可

5. パナマ運河拡張前の航路

(パナマ運河の拡張前は) 喜望峰回りの航路を通る必要があった, という内容 (3点)

* 「喜望峰」は「アフリカ大陸南端」「スエズ運河」でも可

* 「回り」は「経由」でも可

I. 1が2の理由である, または

1が3の理由である, または

1が4の理由である, という関係でなければ, 2点減点

II. 2が3の理由である, または

2が4の理由である, という関係でなければ, 2点減点

問4 6点

1. ヘンリーハブ方式採用の影響 i (天然ガスの価格分散)

(天然ガスの間で) 複数の価格方式をとることで価格を安定させられる, という内容 (3点)

* 「価格を安定させられる」は「価格変動リスクが減る」「価格分散が働く」でも可

* 「複数の価格方式をとることで」など, 小要素〔天然ガス内での価格分散〕がないものは不可

2. ヘンリーハブ方式採用の影響 ii (資源間の価格分散)

石油の影響による価格変動を避けられる, という内容 (3点)

* 「資源間で価格変動リスクを減らせる」「資源間での価格分散が働く」でも可

* 「石油の影響による」など, 小要素〔資源間の価格分散〕がないものは不可

II (50点)

採点基準

問1 15点

1. A国の名前
(A国が) ブラジルである, という内容 (2点)
2. A国の都市問題i (人口流入)
(A国) 都市部に人口が流入した, という内容 (2点)
* 「人口が急増した」でも可
* 「人口」は「(農村の) 余剰労働力」でも可
3. A国の都市問題ii (人口過密)
(A国で) 都市人口が過密となっている, という内容 (2点)
4. A国の都市問題iii (治安の悪化)
(A国の) スラムが形成され, 治安が悪化している, という内容 (3点)
* 「スラムが形成され」など, 小要素〔スラム形成〕ないものは, 2点とする
* 「治安が悪化している」は「犯罪率が高い」でも可
* 「スラム」は「ファベラ」でも可
5. A国の都市問題iv (交通渋滞)
(A国で) 交通渋滞が起きている, という内容 (2点)
* 「過密となっている」でも可
6. A国の都市問題v (大気汚染)
(A国の) 大気汚染が発生している, という内容 (2点)
7. A国の都市問題vi (衛生環境)
(A国の) 衛生環境が悪化している, という内容 (2点)
8. A国の都市問題vii (失業者)
(A国で) 失業者が溢れている, という内容 (2点)
* 「失業者」は「インフォーマルセクター」「生活困窮者」「貧しい人」でも可
9. A国の都市問題viii (自然災害への脆弱性)
(A国は) 自然災害に脆弱である, という内容 (2点)
* 「防災体制が不十分である」でも可
10. A国の都市問題ix (インフラの未整備)
(A国では) 上下水道などインフラ整備が不十分である, という内容 (3点)
* 「整備が不十分である」は「未発達である」でも可
* 「上下水道」は「水道」「道路」「都市計画」でも可
* この小要素〔インフラの具体内容〕がないものは, 2点とする
- I. 2~10の加点の合計が13点を超える場合, 13点とする

問2 7点

1. B国の名前

(B国が) ペルーである, という内容 (2点)

2. B国で起きる災害名

(災害名が) 地震である, または

(災害名が) 豪雨である, という内容 (2点)

*1「地震」は「津波」「火山噴火」でも可 (以下の要素でも同様)

*2「豪雨」は「土砂災害」「土砂崩れ」「洪水」でも可 (以下の要素でも同様)

3. 災害が起きる理由 i (地震)

(両国で) 新期造山帯に位置するため, 地殻変動が活発である, という内容 (3点)

*「新期造山帯に位置する」など, 小要素〔地殻変動の理由〕がないものは, 2点とする

*2で災害名が地震ではないとした解答は, この要素の得点を与えない

4. 災害が起きる理由 ii (豪雨)

(両国で) エルニーニョ現象によって, 異常気象が起きる, という内容 (3点)

*「異常気象が起きる」など, 小要素〔異常気象の発生〕がないものは, 2点とする

*2で災害名が豪雨ではないとした解答は, この要素の得点を与えない

I. 3が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点

II. 4が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点

問3 10点

1. C国の名前

(C国が) キューバである, という内容 (2点)

2. 医療機器の更新が行われない理由

(C国が) 医療先進国から医療機器を輸入しにくい, という内容 (3点)

*「輸入しにくい」は「輸入できない」でも可

*「医療先進国」は「先進国」「米国」でも可

*この小要素〔医療機器の輸入元〕がないものは, 2点とする

3. 医療機器を輸入しにくい理由 i (禁輸措置)

(C国が) 米国からの経済制裁による禁輸措置をとられている, という内容 (3点)

*「米国からの経済制裁による」は「米国との外交関係が悪く」「米国と国交を断絶していたため」でも可

*「米国と国交を断絶しているため」は不可

*この小要素〔米国の経済制裁〕がないものは, 2点とする

4. 医療機器を輸入しにくい理由 ii (社会主義)

(C国が) 社会主義国家である, または

(C国で) キューバ革命が起こった, という内容 (2点)

*1「(C国との) 貿易手続きが煩雑である」でも可

*2「キューバ革命」は「キューバ危機」でも可

I. 3が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点

II. 4が2の理由である, という関係でなければ, 2点減点

問4 18点

1. D国の名前

(D国が) パラグアイである, という内容 (2点)

2. D国の主産物

(主産物が) 大豆である, という内容 (2点)

3. 生産拡大の自然条件 i (土壌)

(D国の土壌が) 肥沃な土壌である, という内容 (2点)

* 「肥沃な土壌」は「テラローシャ」でも可

4. 生産拡大の自然条件 ii (気候)

(D国は) 気温が高く適度な降水量がある, という内容 (3点)

* 小要素 [高い気温] と小要素 [適度な降水量] のいずれかがないものは, 2点とする

* 「適度な降水量がある」は「降水量が多い」でも可

5. 生産拡大の社会的背景 i (商品作物)

大豆は商品作物である, または

(パラグアイは) 新しい農業技術が利用可能であった, という内容 (2点)

* 1 「大豆は輸出を目的して栽培された」「大豆は国際市場を相手にしていた」でも可

* 2 「新しい農業技術」は「近隣国の農業技術」「日本の農業技術」でも可

6. 生産拡大の社会的背景 ii (市場拡大)

(1980年代頃に) (米国の) 禁輸措置の影響で大豆市場が拡大した, という内容 (3点)

* 「禁輸措置」は「不作」でも可

* この小要素 [大豆市場拡大の理由] がないものは, 2点とする

* 「大豆市場」は「大豆の需要」「バイオ燃料の需要」でも可

7. 大豆輸出への依存の問題点 i (生産高の影響)

(大豆の) 生産高変動の影響を受けやすい, という内容 (2点)

* 「生産高変動」は「気候変動」「収穫状況」でも可

8. 大豆輸出への依存の問題点 ii (国際価格の影響)

(大豆の) 国際価格変動の影響を受けやすい, という内容 (2点)

* 「国際価格変動」は「国際的な需要変動」でも可

Ⅲ (50点)

採点基準

問1 16点

1. 輸入先の推移の特徴 i (韓国)

韓国からは年中輸入しているが、晩夏から秋に少なくなる、という内容 (3点)

* 「韓国からの輸入量は年間を通じて多い」など、小要素〔夏秋の減少〕がないものは、2点とする

* 「晩夏から秋」は「8月から10月」など具体的に述べても可 (以下の加点要素も同様)

2. 輸入先の推移の特徴 ii (オランダ)

オランダからは晩夏から秋に輸入している、という内容 (2点)

* 「輸入している」は「輸入が増える」でも可 (以下の加点要素でも同様)

3. 輸入先の推移の特徴 iii (ニュージーランド)

ニュージーランドからは冬に輸入している、という内容 (2点)

* 「冬」は「10月から4月」など具体的に述べても可

4. 推移の特徴をもたらす理由 i (韓国との距離)

韓国からは距離が近いので輸送費が安い、という内容 (2点)

* 「韓国とは距離が最も近い」でも可

5. 推移の特徴をもたらす理由 ii (韓国の生産量)

晩夏から秋には韓国の生産量が減少する、または

晩夏から秋には市場に出回るパプリカの量が減る、という内容 (3点)

* 1 「晩夏から秋は韓国の端境期にあたる」でも可

* 「晩夏から秋には韓国からの輸入量が減少する」など、生産量の減少が示されていないものは不可

* 2 「晩夏から秋にはパプリカの価格が上昇する」でも可

6. 推移の特徴をもたらす理由 iii (オランダ)

オランダは秋まで生産量が多い、という内容 (2点)

* 「秋」は「10月」「11月」など具体的に述べても可

7. 推移の特徴をもたらす理由 iv (ニュージーランド)

ニュージーランド (と日本) は季節が逆である、という内容 (2点)

* 「ニュージーランドは南半球にある」でも可

I. 4が1の理由である、という関係でないものは、2点減点

II. 5が1の理由である、または

5が2の理由である、という関係でないものは、2点減点

III. 6が2の理由である、という関係でないものは、2点減点

IV. 7が3の理由である、という関係でないものは、2点減点

問2 16点

1. オランダの園芸農業の特徴

(オランダの園芸農業は) 選択と集中を行っている、という内容 (2点)

* 「得意な品目に特化している」でも可

2. 選択と集中の効果 i (付加価値)
(オランダの園芸農業は) 高付加価値な農産物を生産している, という内容 (2点)
* 「高付加価値な」は「価格の高い」でも可
3. 選択と集中の効果 ii (高生産性)
(オランダの園芸農業は) 機械化が進んでいる, という内容 (2点)
* 「生産性が高い」「高い技術力を有する」でも可
4. オランダの園芸農業の課題
過剰生産で価格が低迷している, または
他国との競争が激化している, という内容 (3点)
5. オランダで園芸農業が発達した理由 i (制度)
共通農業政策で他品目の価格支持が減った, または
園芸農業を推進する政策がとられた, という内容 (2点)
*1 「他品目」は「穀物」「砂糖」でも可
6. オランダで園芸農業が発達した理由 ii (土地)
(園芸農業に適した) (海岸) 砂丘が存在する, という内容 (2点)
7. オランダで園芸農業が発達した理由 iii (消費地)
EUの大消費地に近い, という内容 (3点)
* 「EUの」は「ドイツの」「フランスの」など具体的な国名をあげても可
* この小要素〔消費地の具体例〕がないものは, 2点とする
* 「大消費地」は「大市場」でも可

問3 18点

1. 主要な送り出し地域
(主要な送出国は) 太平洋の島嶼部である, という内容 (2点)
* 「太平洋の島嶼部」は「太平洋の島嶼国」「メラネシア」「ポリネシア」でも可
* 「サモア」「トンガ」「バヌアツ」など具体的な国名をあげても可
2. 送出国の経済に対する効果
(送出国の) 外貨獲得源となる, または
(送出国の) 国民所得が増加する, という内容 (2点)
*2 「送出国でまかないきれない所得の獲得源になる」でも可
3. 送出国の労働市場に対する効果
(送出国は) 労働力の過剰供給を緩和できる, または
(送出国は) 高度な技能の習得機会を得る, という内容 (2点)
4. 受入国の経済に対する効果
(受入国の) 産業の活性化につながる, という内容 (2点)
* 「生産量を増加できる」「国民所得が増加する」でも可
5. 受入国の労働市場に対する効果
(受入国は) 単純労働力を確保できる, という内容 (2点)

6. 送出国の経済に対する課題
(送出国が) 他国の経済に依存する, という内容 (2点)
 - * 「経済」は「産業」でも可
 - * 「労働力の受入がなくなった場合に対応できない」でも可
7. 送出国の労働市場に対する課題
(送出国の) 労働力が不足する懸念がある, という内容 (2点)
8. 受入国の経済に対する課題
(受入国の) 自国通貨が流出する, という内容 (2点)
 - * 「(国内の労働者を使用した場合と比べ) 国民所得が減少する」でも可
9. 受入国の労働市場に対する課題
(受入国で) 熟練した労働力が確保できない, という内容 (2点)
 - * 「ノウハウが海外に流出する」「受入国の雇用が奪われる」でも可